

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	情報学科						
科目名	マルチメディア						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	選択必修/選択						
担当者	勝瀬郁代						
授業の到達目標 (シラバスから)	人間の知覚の概要、ならびに、画像、映像、音楽の符号化の概要や音声情報処理の概要を知っていて、簡単な処理を実行できる。主なファイルフォーマットの概要を知っている。インターネットビジネスと携帯端末の進化の概要、ネットワークセキュリティと著作権の概要を知っている。関連科目の履修と合わせてマルチメディア検定ベーシック及びエキスパート取得可能な程度の知識を獲得する。						
日程と内容	<p>4/11 第1回：導入講義：授業の進め方と概要、成績評価法の説明。</p> <p>4/18 第2回：Webページの作成～HTML5（レポート）</p> <p>4/25 第3回：人間の視覚と画像のデータ表現（小テスト）</p> <p>5/2 第4回：画像処理ソフトウェアの実習（レポート）</p> <p>5/9 第5回：音のデジタル化。音声の生成と音声合成、音声の知覚と音声認識について解説する。（小テスト）</p> <p>5/16 第6回：オーサリングソフトウェアの実習（レポート）</p> <p>5/23 第7回：ファイルフォーマット、文書記述フォーマット、画像や音楽の符号化とフォーマット（小テスト）</p> <p>5/30 第8回：ファイルフォーマット変換などの実習（レポート）</p> <p>6/6 第9回：携帯端末の進化と日常生活におけるマルチメディア。（小テスト）</p> <p>6/13 第10回：インターネットサービスとインターネットビジネス。（小テスト）</p> <p>6/20 第11回：ネットワークセキュリティと著作権。（小テスト）</p> <p>6/27 第12回：検定試験既出問題に取り組む</p> <p>7/4 第13回：検定試験既出問題に取り組む</p> <p>7/11 第14回：wavファイルのヘッダ情報抽出プログラムの作成</p> <p>7/25 第15回：wavファイルのヘッダ情報抽出プログラムの作成（レポート）</p>						
成績評価基準	定期試験		実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	40%	プレゼンテーション				
	課題						
	演習	60%	計			100%	
授業到達目標の達成度	普段の授業を出席していた受講生は全員合格しており、合格者の平均評価は77.9点であった。前期に届出があっただけでも、マルチメディア検定ベーシック合格者が7名、エキスパート合格者が2名いたので、十分に達成したといえる。						
反省点	マルチメディア検定ベーシックに対する対策は十分に行ったので、普段の小テストの成績がいまひとつよくない受講生でも合格できてよかった。一方で、エキスパートに挑戦した受講生が予想よりも多く、こちらは苦戦したようだった。来年度は、彼らの苦手な分野に絞り、エキスパート受験対策を取り入れたい。						
来年度の計画	おおよそ、今年度の方法を踏襲して来年度も実施するが、エキスパート受験対策を一部取り入れる。						
授業評価アンケートに対するコメント	「授業の内容を理解できましたか」の設問に対する平均値が4.0、授業に対する総合評価が8.1なので、まずまずの評価を受けていると思う。						
履修登録者数	56名	定期試験 受験者数	53名	合格者数	53名	合格率	100%